

画に係る事項 処理施設の維持管理に関する計	排ガスの性状、放流水の水質について周辺環境の保全のため達成することとした数値	ばいじん濃度 0.05 g/Nm ³ 以下(O ₂ =12%) 硫黄酸化物 67 ppm 以下(O ₂ =12%) 塩化水素 140 mg/Nm ³ 以下(O ₂ =12%) 窒素酸化物 100 ppm 以下(O ₂ =12%) 一酸化炭素 100 ppm 以下(O ₂ =12%) ダイオキシン類 1.0 ng/Nm ³ ·TEQ 以下(O ₂ =12%)
	排ガスの性状及び放流水の水質の測定頻度に関する事項	排ガスは常時監視します。また、放流水は日3回実施します。
	その他処理施設の維持管理に関する事項	別紙維持管理計画表のとおり

維持管理計画表

項 目	管 理 方 法
性状の分析及び計量	廃棄物はマニフェスト及び目視により確認し、搬入時に計量します。
能力以上の投入防止	廃棄物は地下ピットからクレーンで自動運転にて定量的に投入し、過剰投入を防ぎます。
事 故 の 防 止	運転マニュアルに沿って稼働させ、また日常点検及び作業日誌により事故を防ぎます。
定期的な点検、機能検査及び清掃等	施設は日常点検及び定期検査にて機能維持を図ります。また、清掃を徹底します。
飛散及び流出防止	廃棄物は保管施設にて保管し、飛散及び流出を防ぎます。
悪 臭 の 防 止	廃棄物は保管施設にて保管します。また、廃棄物は完全燃焼させ、悪臭の発生を防ぎます。
害虫等の発生防止	害虫の発生防止のため、施設の清掃を実施します。また、殺虫剤を散布します。
騒音及び振動の防止	低振動・低騒音機器を導入します。また、過剰運転をせず騒音及び振動の発生を防ぎます。
防 火	消火設備を設置し、緊急時は自動停止します。
放流水、ばい煙、pH等の定期的な検査	排ガス濃度は常時測定します。記録は3年間保存し閲覧可能とします。また、放流水の検査はph、SS、CODを3回/日実施します。
記 録 及 び 保 存	点検記録、作業日誌は3年間保存します。

廃棄物の投入	廃棄物は外気と遮断した状態でクレーンより定量ずつ供給します。
燃焼ガス温度	燃焼ガスは摂氏 800 度以上保ちます。また運転開始時は始動バーナーにより速やかに炉温を上昇させます。
燃焼ガス温度測定 及 C o 濃 度 測 定	測定装置により燃焼ガス温度及び排出ガスのCO濃度測定を常時実施します。
冷 却 装 置	燃焼ガスは冷却塔により 200℃以下に冷却します。
排ガス中のダイオキ シ ン 濃 度	ダイオキシン濃度は 1.0 ng/Nm ³ ·TEQ 以下となるよう焼却します。
ばいじん及び焼却灰 の 貯 留	焼却灰は水冷後もえがら置場にて保管し、セメント原料として使用します。ばいじんは湿式集じん機及びスクラバーから排水と共に処理します。